

アジア視察報告＜９＞

視 察 項 目	表敬訪問
視 察 日 時	２０２４年１０月２５日（金） 午前１０時００分～１１時１５分
視 察 先 名	ダナン人民評議会（ダナン市議会） ダナン人民委員会（ダナン市役所）
説 明 者	ダナン人民評議会 副議長 チャン フク ソン氏他８名
担 当	雨笠 裕治、嶋田 和明、高橋 美里、田倉 俊輔

【ダナンの概要】

ダナンは、ホーチミン、ハノイ、ハイフォンに次ぐベトナム第４の都市で、中央政府が直接管轄する５つの都市のひとつである。ハン川河口の南シナ海沿岸に位置しており、ベトナム中部の港湾都市として経済の戦略的な重要性も担っている。また、道路、鉄道、海路、空路における南北交通の要衝であり、ベトナムからラオス、タイ、ビルマ（ミャンマー）に通じる東西経済回廊の東の始点でもある。

更に、ダナンは３つの世界文化遺産—古都フエの建造物群、ホイアン旧市街、ミーソン聖域に囲まれて、ビーチもあるためリゾート地としても栄えている。

平成３年のダナン市からの友好港交流の打診に始まり、本市とは３０年以上に渡る交流が続いている。平成２８年に実施した海外視察でもダナン市を訪れており、その際のメンバーが今回の視察団に含まれていることから、この８年間のダナン市の成長ぶりに驚きの声も上がった。

【ダナン市と本市との交流のあゆみ】

- １９９１年６月 ダナン市長から本市市長に友好港交流について打診
- １９９１年８月 本市代表団がダナン市およびダナン港を訪問
- １９９２年５月 ダナン副市長が本市を訪問、仮調印
- １９９４年１月 本市代表団がダナン市を訪問、本調印

２００４年３月 本市代表団がダナン市を訪問、交流確認書の調印

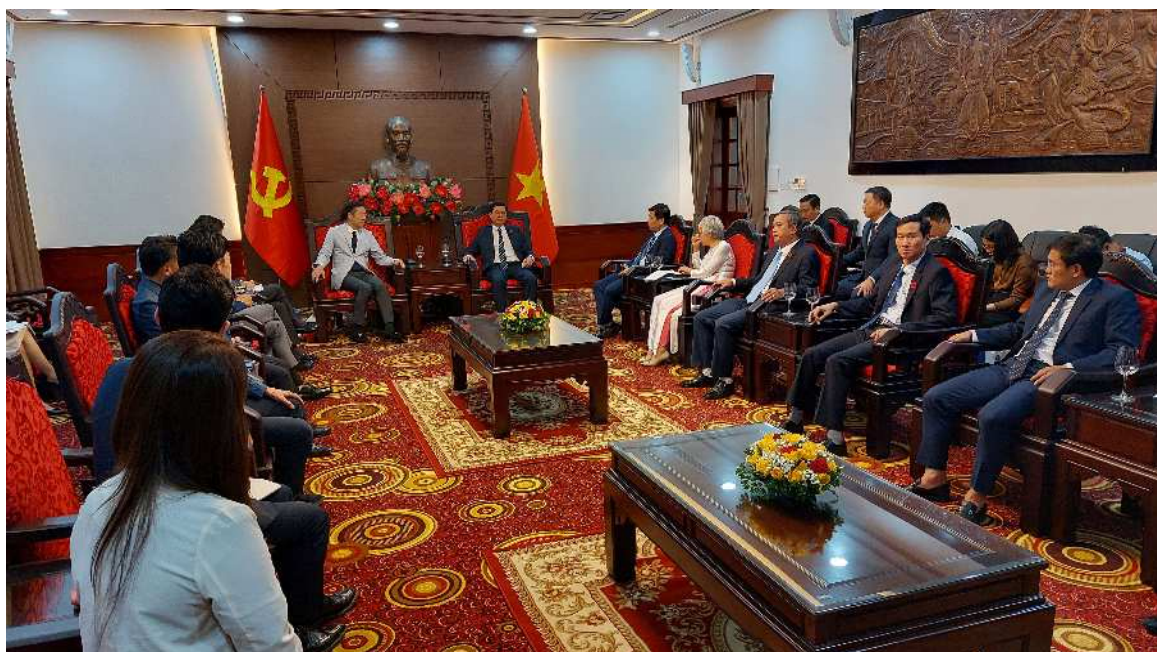
２００７年１０月 ダナン市人民委員会委員長と本市市長が、両都市の協力を強化することを目的とした経済協力に関する覚書に調印

２０１２年２月 ダナン市人民委員会委員長と本市市長が、両都市の環境協力及び港湾・産業交流に関する覚書に調印

【表敬訪問について】

（１）概要

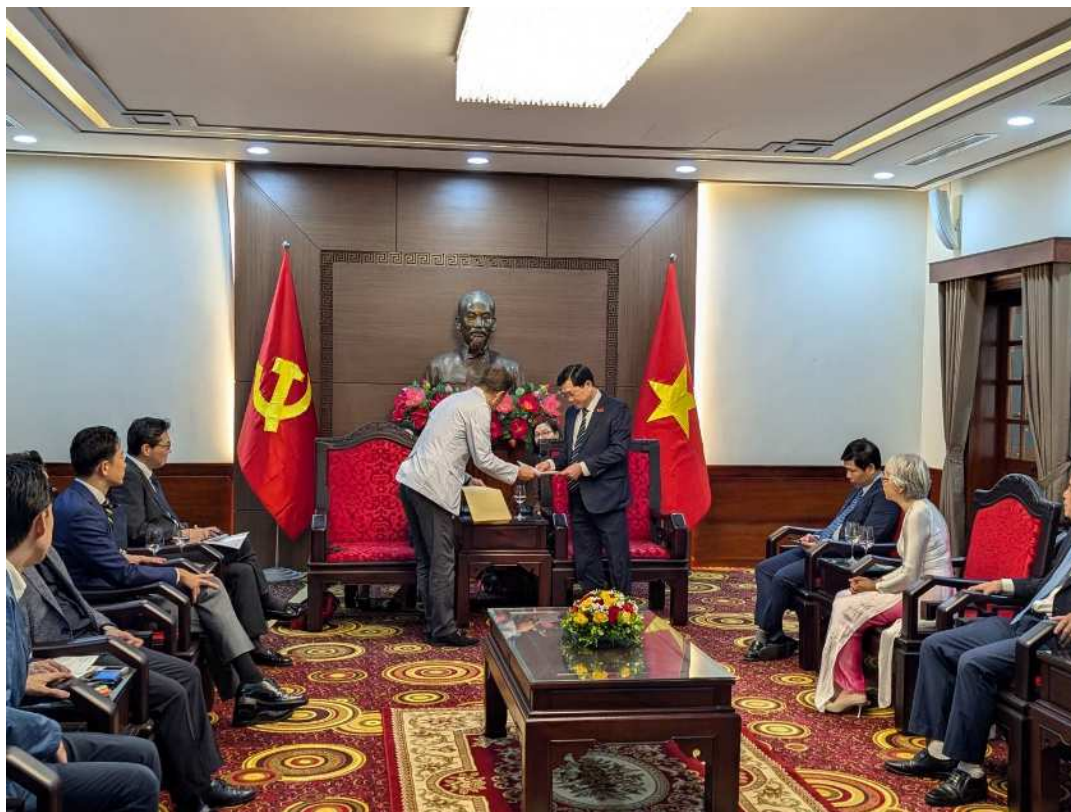
表敬訪問では、ダナン人民評議会副議長、経済予算委員会副委員長、文化社会委員会副委員長、環境委員会副委員長、法制委員会副委員長、交通運輸局長、外務局副局長、建設局副局長、国会議員官房副長官兼ダナン人民評議会議員グエン・シュン・テュー議員に加え、在ダナン総領事館森健郎総領事にも御列席いただいた。副議長から、川崎市制１００周年に関するお祝いの言葉をいただいた後、日本とダナン市の関係、今後のダナン市の目指す姿に関する説明を受けた。



続く情報交換では、ダナンから議員交流・２０２５年１月に開催される姉妹都市フォーラムへの招待、といった本市との連携交流を更に深め

るための提案があった。視察団からも理系人材の確保やキングスカイフロントを核とした医療分野での連携等について前向きな意見を伝えた。

また、川崎市長からの親書（ダナン市長宛）を手渡した。



川崎市長からの親書を渡す両笠団長

（２）ダナン市からの説明

ダナン市における海外からの投資は日本が一位となっているため、日本との友好関係を非常に重要視しており、川崎市を含めて４都市と姉妹・友好関係を締結している。また、日本との間で、経済・医療・投資・観光等の多くの分野で交流プログラムを実施している。例えば、人的・文化的な交流については、２０１４年からはダナン市にて日越文化交流フェスティバルを大規模に開催しており（補足：２０２４年には本市に拠点を置くダンスチーム KADOKAWA DREAMS がパフォーマンスを披露している）、産業分野では、日本にて積極的に投資促進セミナーを開催している。

観光、サービス、工業・ハイテク分野に重点を置いて発展目標を立てており、特に、医療分野、サービス業、技術・高度技術の人材育成につ

いては、日本からの協力が期待されている。2030年までに東南アジア地域やベトナムにおける経済社会の中心地になることを目指している。

観光分野に関しては、今年の9月までにダナンを訪れた観光客は9,000万人となり、外国人観光客はそのうち3,000万人を占めている。その中には、多くの日本人も含まれている。2022年6月にオープンしたダナン三日月ジャパニーズリゾート&スパをはじめ、日本企業もダナン経済に多く貢献しているとのことであった。

今年6月には、ダナン自由貿易区の設立を含む特別制度の試行がベトナム国会で決議採択され、国家予算の管理・都市計画・電源資源の管理・戦略的な投資の誘致等が、ダナン市で決定できるようになる。また、現在、建設中のリエンチュウ港に自由貿易区が設立されることとなる。

ダナンには、国内に3つあるハイテクパークの一つがあることから、半導体とAI分野での人材育成に力を入れているほか、ダナン大学等、日本との連携をとっている大学もあり、優秀な卒業生を送り出しているということだった。



ダナン人民評議会副議長から説明を受ける視察団

(3) 意見交換

ダナン市：

医療関係のプロジェクトの協力をいただいているが、川崎市との連携をより強くしていくためにいくつか提案したい。

① 川崎市議会とダナン人民評議会間の意見交換

② ダナン市の議員が川崎市を訪問して、川崎市の知見を得るための交換プログラム（勉強会）の実施。特に、自由貿易区ができるダナン市としては、医療技術の集積に成功しているキングスカイフロントの開発に関して、議会がどのような役割を果たしているか教えてほしい

日越両国の理解を深めるため、視察団や観光客が訪れていただくことを期待している。逆に、我々も日本の文化発信を行っていききたい。

この場を借りて、森総領事にもお願いをしたい。JICAから医療・教育分野等多大な技術支援をいただいている。工事中の港に関してもJICAからの支援があった。JICAとしても、ダナンと川崎市の交流プログラムに協力をいただき、両市の友好関係強化をはかっていただきたい。JICAとして、研修プログラムの御支援をお願いしたい。

視察団：

川崎市には、羽田空港からすぐのキングスカイフロント、NEC・富士通・東芝といった企業の研究拠点や量子コンピューターの研究機関があり、ダナンの優秀な理系人材獲得やダナンとの産業交流を望んでいる。また、川崎市側からも世界最高水準のIT技術や環境技術をダナンの発展に役立たせるために提供できると考える。また、本日訪れた議員それぞれが、得意分野を生かしながら、ダナンとの連携・交流を深めていきたい。

キングスカイフロントには、コロナ前は、ベトナムから医師の方々が視察に来られていた。コロナで止まってしまった人材交流を再開することが大切である。また、医師の個別の技術交流の他に、川崎

のノウハウを学んでいただいて同じような仕組みをダナンに作る
ことが重要である。

ダナン市：

2025年1月15日～18日にダナン市が主催するダナン市
との姉妹都市フォーラムについて、川崎市長への招待を届けている。

視察団：

市議会宛てにも招待をいただければ、市議会議員も行きやすくな
る。

ダナン市：

市議会宛てにも招待状を送付し、議員の皆様にも来ていただきたい。
市役所と人民委員会との交流を重視してきたが、議会同士の交
流も深めていきたい。また、国会議員同士も交流しているので、地
方議会議員同士も交流していきたい。



【その他】

今回の表敬訪問の様子は、その日のうちに、ダナン市のホームページにニュースとして掲載され、翌朝には、朝のニュース番組で放映された。

【総括】

前回の海外視察から8年ぶりのダナン市の訪問となり、前回もダナン市を訪れた議員からは、その発展ぶりに驚く声が多く聞かれた。ダナン市を流れるハン河沿いやダナンビーチ沿いの通りには、高層の新しいホテルが建設され、ベトナム有数のリゾート地としての活気が伝わってきた。

表敬訪問では、本市に対して、議会における人的交流、医療分野を中心とした産業・技術交流等を具体的かつ積極的に求める旨の提案があり、本市への期待を強く感じた。

コロナ禍で、ダナン市と本市の交流が薄れてしまったが、1994年友好港調印以来、30年にもわたり交流を続け、信頼関係を構築してきた本市だからこそ、医療分野やIT技術も含めた幅広い分野での連携を進めていくために、次のステップとして、姉妹都市の関係を構築することを検討すべきと感じた。本市の技術力がダナン市の発展に寄与するとともに、本市の課題である高齢化や環境技術・量子コンピューター等の最先端技術の発展に対して、ダナン市からの優秀な人材獲得を期待できる。

横浜市は、2013年から「ダナン市都市開発フォーラム」をほぼ毎年開催し、環境分野での技術連携を促進させている。また、大阪府堺市は2019年2月にダナン市と姉妹都市提携を結んでおり、2024年日越文化交流フェスティバルでは、ステージにて堺市を紹介するプログラムが実施されるなど、ダナン市と急速に緊密な関係を築いている。

繰り返すが、30年に渡りダナン市と様々な交流を続けてきた本市だからこそ、ダナン市と次のステップである包括的な姉妹都市関係を早急に築き、お互いのメリットを生かしながら、相互に発展していくことを期待したい。